



春夏秋冬

戦争よさらば！

代表幹事 相馬 實

シャープ社友会  
広島支部会報  
ひびき 第22号

主要記事

- 1面 春夏秋冬 戦争よさらば！
- 2・3面 支部定期総会のご案内
- 4・5面 HOW DO YOU DO
- 6面 同好会初参加の記
- 7面 通信事始物語 最終章
- 8面 社友短信 正反合

ブーン、バリ・バリ・バリ。間近で聞こえずぎましい音に驚き、必死で近くの林に逃げ込みました。

突然の恐怖に、あたりを充分観測出来ませんでした。これは明らかに米軍艦載機の急降下による機銃掃射と判りました。

終戦間近の昭和20年初夏、谷向こうの小学校から一人で疎開先の家に帰る途中の出来事でした。あたりは畑が広がった丘の上で、人影も無かったようでしたが、本当に私が狙われたかどうかは不明です。

しかし、この出来事は私にとって一生忘れられない恐怖として記憶に残っています。

昨年アメリカで起きた同時多発テロはあまりにも衝撃的であり、これを発端としたアフガニスタンへの空爆と地上部隊の投入は、必然的に一般市民に多くの犠牲を出すというお決まりの結果となりました。

これら一連の出来事は、私の恐怖の戦争体験をまた思い出させたのです。

昭和20年ともなると、日本各地は米軍の空爆を受けるようになり、不安と緊張が高まっていました。

私の家は横浜の郊外(当時は田舎と言った方がよいくらい)にあり、本来なら空爆の目標には無縁の場所のはずですが、私の恐怖体験の元凶は家の近くの丘にあった高射砲陣地でした。

ここは間違いなく米軍の攻撃目標となり、我家は極めて危険な立地条件にあることは明白で、この危険を避けるため親戚である農家の納屋を借り、疎開したのは当然のことと言えます。

4月のある夜、私は近くの防空壕で目を覚ました。目の前の畑は米軍の投下した焼夷弾により無数の火柱が立っており、借りていた納屋も焼かれています。

その後近くの窪地に爆弾が落ち、小さな防空壕に居ては反って危険なため、見晴らしの利く高台に避難場所を移し、空襲の終るのを待つ事になりました。

しばらくすると数キロ先の丘に飛行機が墜落し、周りの木々が真つ赤に燃え上がるのが見えました。  
目の前で飛行機が墜落する光景を見ることは、最初にして最後の事と思います。  
これ等以外にも、兵隊が上官にサーベルで何度も叩かれ血だらけになるのを目の前で見たり兵器用資材不足による愛用三輪車の供出という名の取り上げ等、戦争にまつわる嫌な思い出もあります。

8月15日に終戦となりましたが、安全と思った疎開先で恐怖体験をし、焼け出されたりもしたのに、危険と思った我家はその周辺も含め全く無傷であったことは誠に皮肉な事でした。  
第2次世界大戦後も朝鮮動乱、ベトナム戦争を初めとして世界各地で幾多の戦争が起こり、パレスチナでの紛争は未だ先の見えない感があり今後どうなるのか心配です。

私が今、シャープ社友会の一員として楽しく毎日を過ごせるのも、日本は戦争の無い国だからです。  
世界のどの国からも戦争がなくなり、全ての人々が安心して暮らせる日が訪れることを願っています。

# 昭和14年度 広島支部定期総会

## 5月17日(金)に開催

第九回となる広島支部定期総会は、5月17日(金)にラポール広島で開催。例年どおり、紅葉会総会も同時に開催。  
今年の総会の概要を、お知らせします。

### 主要な議題

① 本部定期総会報告 担当 出口支部長  
4月22日に行われる本部総会に出口支部長が代表出席。概要を報告します。

② 平成13年度支部活動報告 担当 吉岡副支部長  
平成13年度に実施した支部の事業・行事の概要を報告します。

③ 平成14年度事業・行事計画の発表 担当 吉岡副支部長  
平成14年度の事業・行事計画内容を提案発表します。  
総会当日では、既に実施済みの項目もありますが、次ぎの項目となります。  
・ 春季親睦旅行(紅葉会主催)  
・ 本部定期総会出席  
・ 広島支部定期総会  
・ 九州分会総会  
九州分会は、当総会をもって九州支部に昇格し、広島支部より分離独立の予定。

・ 事業本部との懇談会  
・ 秋季親睦一泊旅行(社友会)主催  
・ 昼食懇親会で、出席の皆さんからご意見をうかがいます。  
・ 平成15年新年会  
・ 役員会  
・ 同好会  
・ 会報“ひびき”の発行  
・ その他

④ 平成13年度会計決算報告 担当 松浦幹事

⑤ 平成13年度会計監査報告 担当 吉久幹事

⑥ 平成14年度運営予算発表 担当 松浦幹事

⑦ 広島支部規約改定報告 担当 西尾幹事

⑧ 平成13年度同好会活動報告 担当 濱川幹事

⑨ 役員交替報告

⑩ 質疑・会員提案 担当 相馬代表幹事

### ご案内

### 定期総会出席について

□ 総会出席の、可否についてご連絡はお済でしょうか。未だの方は5月8日までにご連絡ください。

年会費 3000円  
親睦会費 2000円

□ 開会は、午前11時です。定刻までに受付を済ませて会場にお集まりください。

□ 秋の親睦旅行について、懇親会の中でご意見をうかがいます。時期・候補地・予算などご提案ください。

□ 駐車場は、第三工場従業員駐車場になります。保安係の指示に従って駐車ください。

□ ご出席の方々は、年会費(平成14年度)及び当日の親睦会費を受付でお納めください。

社友会  
紅葉会  
合同懇親会

昼食をいただきながら、社友会・紅葉会合同で懇親会を行います。  
司会・進行は、佐々木幹事が担当します。

■乾杯のご発声  
慣例により、社友会の新入会員の中からお願いいたします。

後ほど、社友会・紅葉会とも、新入会員の皆さんには自己紹介をお願いします。

■『古稀』のお祝い  
平成14年度には、六名の方が古稀を迎えられます。  
社友会からのお祝いは、誕生月にお渡しします。

すが次ぎの方々です。

- ・岡本 真一さん
- ・石井 叶さん
- ・松岡 良明さん
- ・片桐 縣二さん
- ・濱川 康さん
- ・新田 保さん

■秋季親睦旅行の提案

企画担当幹事から、たたき台レベルの提案を行います。遠隔地を除き、未知・不案内の場所は少なくなっています。  
皆さんのアイデアとご意見を披瀝ください。

■懇親会前に、出席者で記念写真を撮影します。中庭にご集合をお願いします。

懇親会終了とともに、散会となります。およそ、午後2時を予定しています。



平成13年度定期総会のスナップ。



## 第17回 ボーリング大会

参加申込 受付中 (5月8日締切)

歴代の優勝者のほとんどが初参加者。初参加者ほど有利なハンディキャップ?

\*だだいま、参加申込受付中

\*競技 5月18日(土) 午前10時スタート  
定期総会の翌日です

\*場所 賀茂ボウル (西条町御園宇 R486沿い)

\*会費 2000円

\*表彰 優勝者にトロフィー・入賞者に賞品多数

ボウリング

新春恒例 第十六回大会

新優勝トロフィーは『東さん』の手に

恒例となった新春1月のボウリング大会は、20人(社友会12人・紅葉会2人・会員夫人3人・一般2人)の参加を得て、1月20日賀茂ボールにて開催しました。

今回の初参加者は、社友会新人の東さん、一般参加の土肥さんの2人。前回の優勝者車角さんは残念ながら今回不参加。

参加者気あいあいの中で、第1ゲームが終了し、この時点でトップは東さん、細井さんは一七二点(スクラッチ)のベストスコアを出すも、ハンデキャップの差で4ピン届かず2位。3位が山口さん(いづれも社友会員)で、トップと3位のピン差が9ピンと僅少差。更に、トップからのピン差が20ピン以



第16回ボウリング大会 参加のみなさん

内に8人がひしめきあい優勝の行方は混沌の状態。

そして、第2ゲームでは東さんが一九三点のハイゲームをマークして逃げ切り、新しい優勝トロフィーを手にする嬉しい初優勝となりました。

準優勝は、ハンデイを有効に生かし、一九一点のベストスコアをマークした吉久さんでした。

- ◇優勝 東 秀次社友会 三六九点
  - ◇準優勝 吉久 清春社友会 三四七点
  - ◇第三位 山口 春香社友会 三三八点
  - ◇HG賞 東 秀次男(性) 一九三点
  - 川田美美子(女 性) 一八四点
- [注] 得点はハンデイキャップを含む

グラウンドゴルフ

初めての体験

昨年発足した、新しい同好会ですから、全てが初めての体験です。

特に冬季は、前日と当日の天気が悪く、プレーも霜が解けてコンディションが悪く、プレーに支障となります。今後、冬季は練習開始時間に工夫が必要ではと考えております。

また今までの活動は、シャープグラウンドのみで一步も外部へ出ておりません。この会報が発行されますころは過去形



上 参加の皆さん 中 昼食はアナゴ入り炊込みご飯 下 鯛でも外道

釣り

今年初の釣行は30cmクラスの本メバルだ!

メバル狙いに 鯛・鯖・ハゲの外道も混じって

中潮の3日目だというのに、潮の流れの速さに翻弄されました。加えて、船の動きと共に、水深が極端に変わり海底は岩礁のようです。魚探の水深情報を貰いながらも、タナをとるのには苦労しました。

最初のポイントは、日の出前から仕掛けを下ろしましたが、メバルのダブルやトリプルをゲットし30cmに届く良形もあって、興奮したものでした。

いいことが続くとに限らず、またメンバー均等にチャンスをものにしたわけで無く、神のいたずらが明暗をつくりました。釣魚用語での外道に、40cm超の鯖がきたり、鯛の30cmがあったりで楽しい一日でした。

お昼前から、北よりの風が強くなり波頭も白く砕けるような、波高になりました。船頭さんが用意してくれた、アナゴ入り炊込みご飯をいただいて、帰途につきましたが、飛沫を避ける目的で船首の穴倉に潜り込んだのが、裏目でした。上下動の大きさに、四〇年を超えて船酔いに至るかと、心配したほどでした。

6面に、番外編「同好会初参加の記」があります。併せてご一読を。



ゴルフ

第47回7アンダー 第48回6アンダー

優勝は天候か ハンデイか それとも実力か

第47回コンペは寒波での合間、寒さの中でも晴天のせい、ハンデイの甘さの為か、いや実力向上で7アンダー優勝。今回は全体にスコアアップの成績であった。  
また今回より新しく御船さんの加入もありました。

層での今年最後のコンペでもあり、忘年会を兼ねたミーティングに話題の花が咲きました。次回3月の、今期最終戦への2カ月の自主トレの成果が楽しみ……です。

第48回コンペは、気温も春らしく桜前線の話題の真っ只中での展開でした。

当日の天気予報は、曇り後雨の予想でしたが、大した雨もなくプレイが終了できました。結果は6アンダー優勝となり、トレーニング成果の表われでしょう。

これで4月よりの新年度開幕に備え、ニアピン賞の増設要望により4ホール運用となりました。

この会も、6年目を迎える会員数も原田さん、長谷川さんの加入で、37名とますます活気が溢れてきました。

一方では、会員の年齢差も10歳以上とな

平成13年度第9～10戦 成績 (NETスコア)

第47回コンペ			第48回コンペ		
H13.12.26			H14.3.26		
安芸C/C			賀茂C/C		
順位	参加者	par	順位	参加者	par
1	奥村	-7	1	岩永	-6
2	出口	-4	2	山本W	-1
3	嵐	+1	3	河上	+1
4	山口(剛)	+2	4	嵐	+2
5	小谷	+2	5	小谷	+2
6	小林	+3	6	大和	+2
7	山本W	+3	7	鈴木	+3
8	山本(善)	+3	8	山本(善)	+3
9	岩永	+3	9	山口(剛)	+4
10	山口(春)	+5	10	出口	+5
11	車角	+6	11	山口(春)	+5
12	相馬	+6	12	杉山	+6
13	片山	+6	13	奥村	+6
14	山内	+8	14	西尾	+6
15	杉山	+8	15	高見	+8
16	明石	+9	16	長谷川	+8
17	河上	+9	17	山内	+10
18	徳永(文)	+10	18	広瀬	+10
19	山本(博)	+13	19	山本(博)	+11
20	増本	+13	20	相馬	+13
21	西尾	+14	21	徳永(文)	+13
22	吉久	+19	22	原田	+18
23	松本	+20	23	佐々木	+21
24	御船	+20	22		
25	佐々木	+22	23		
Nピン. 出口・小林			Nピン. 小谷・長谷川		



パソコン

ますます楽しい？PCライフ

メールに背景の画像を埋めて、同時にサウンドも入れて、となると画像の選択や独自性も必要です。

サウンドも、いつも同じじゃ変化がないから、使えるものを探すのも結構骨の折れる楽しみです。

例月第1水曜日（5月は第2水曜）社友会室で、例会を行います。会費なし。マシン持参不要。



12月第47回コンペ  
優勝の奥村さん 左 2位の  
出口さん (当広島支部長です)  
右 3位の嵐さん

さであり、会の目的の親睦と健康な体力作り  
に寄与しています。  
今後、何歳までプレイが続けられるか未知数  
ですが、少しでも長くできるように各自の目標  
を評価しながら頑張っています。  
6面に、原田裕美さんの「初参加の記」が  
あります。併読ください。

ウォーキング

あるこう会 12・3月例会

3月 周防大島で桜を堪能

12月末の定例会は13年度の定例会・反省会のため、紅葉会女性会員にブラ  
ニング依頼。  
歩いた後、「会食と入浴をセット」年末  
の定例会を実施。歳末の多忙期にも拘わ  
らず、発足以来初めて全会員とファミリー  
の出席も得て大盛況。

新年度第2定例会。常とはコースを替  
えて黒瀬町・黒瀬川の川沿い10kmを選定。  
新人も参加され稍短縮バージョンで歩  
いた。コースにアップダウンが無かった  
為か、一行の足取りは非常に軽く、ゴール  
近くではもう少し歩かない？との声が出  
ました。

永く続ける事で効果が出るもの、調子  
に乗り過ぎて明日に障害が出ては元も子  
も無くなる、今回は此処でフィニッシュ。  
3月30日、4月予定の周防大島桜ウォー  
クを、開花に合わせて一週間早めて実施。  
岩国ICで下に降り、先日出来たばかり  
の錦帯橋の第三橋と、満開の桜を横目



絶景かな 絶景かな。周防大橋を眼下に見て、豪華な花見弁当はまさしく美味。

に見て周防大島へ。  
大島では落下寸前の、満開の櫻の「飯の  
山」に登り「1万3千歩余りのウォーキン  
グ」になりました。  
満開の下で豪華な花見弁当の昼食、持  
参したビールも旨かったネ。

ゴルフ同好会

HOW DO YOU DO  
番外編

釣り同好会

原田 裕美(No.2154)さん

同好会初参加の記

御船 昭(No.2065)さん

静かにその日は明けました。前日の晴天から、曇り空に変わった3月26日賀茂カントリークラブでの、第48回ゴルフコンペに参加しました。参加した私の一日は、楽しくもあり苦しさもある大変長いプレーの一日でした。一昨年10月に、右首から右腕にかけて故障し、治療と静養を重ねようやく回復してきたところでした。1年半ぶりのコースでした。3月になって3度の練習場を経てのゴルフ再開でもありました。



御船 昭さん

3月18日AM03・30、メバルを求めて倉橋町鹿老渡を目指し総勢七名で出発。  
夜の明けぬAM05・25出港。南西(?)方向へ約1時間、最初のポイントに到着。これまで三度の船釣りの経験があり、今回の釣果目標MIN20〜MAX30匹を目論み勇んで仕掛けを下ろしました。  
ところが、一向に当りが来ず、同じく初参加のHさんには良形が次々と上がって気が焦ります。

静かに心を落ちつかせ、ドライバを振り直しました。  
やった！ボールはフェアウェイの右サイド、210ヤード先のバンカーに真っ直ぐに飛んで、バンカーにつかまったかと、不安がよぎりました。  
全員のティショットが終わり、共に歩き出しはやる心を抑えボールの

焦れば焦るほど、根掛かり。1匹も上げないうちに、仕掛けを切ってしまうしました。  
こんなハズがないと、気を取り戻し再投入。それでも、まだ来ない。どれほど経っただろうか。ようやく最初の当り、やっと今日の初獲物だが形は小さい。  
よし！、次ぎは良形をと願って仕掛けを下ろすも、どうも棚合わせが巧いかない。  
道具(初使用の30号の竿)のせいかと呟くと、先輩の二人のKさんが曰く、「道具じゃない○○だよ」と冷たい？ご指導。  
そうこうしているうちに、また根掛かりで仕掛けを切ると、Kさん又も「今日の仕損は、4ツまで。それ以上は何をか云わんや、だ」と暖か



手前から Hさん、中が Kさん  
奥が 私。なぜか無然としているように見えます。

した。結果から云えば、最初で最後のオナーになりました。  
同伴競技者が見守るなか、少し奮える気持ちに手を押さえながらティーの上にボールを置きます。  
傍へ。ボールは、バンカーの手前にあり約200ヤードのショットでした。このホールは、3打目をグリーン手前のバンカーに入れましたが、4打目はピン上1ピンにつけ、1パットで沈めてペアでホールアウトしました。  
この調子では、今日は巧く行くぞ、初参加でハンディーはWペリアのため優勝もありうる、と内心ではニンマリしたものです。  
しかしながら、ゴルフとはそんなに甘くないと、数時間後に思い知る事になります。OUIは51で終わりました。

激励？をいただいた。  
今回の釣りは、潮流が速く棚の高低も酷く、大目に許されたと思うが仕損は最終的に5本でした。  
こんな状況で、あがる獲物はホゴメバルの方が多く、結果として棚合わせが下手と感じました。

昼食後は、INコースのスタートです。少し速めにティグランドに向かいました。3番目のティオフです。10番はロングホールで、ティショットは左ドッグしたねらい目の  
バンカー手前におとしました。ここまでではほぼ計算どおりでしたが、4打でグリーンに乗せたものの、3パットしてダボ。少し、やばいかなの気持ち膨らんできました。崩れ始めなければいいんだが、と嫌な予感も芽生えてきました。  
12番はショートホール。OBを出してトリプルスコアの9でホールアウト。14番では、3連続のティショットのOB。このホール15の大叩きでまさに悪夢でした。INを上がって見れば、73の過去に経験したこともない、屈辱のワーストスコアになっていました。  
1年半ぶりの再開と、3回ほどの練習で一時は優勝を意識した甘さを思い知り、ゴルフの難しさを改めて痛感しました。

釣れ具合と潮の関係で、何度かポイントを変えましたが、私の状況に変化無く、他のメンバーには鯛・鯖・ハゲなどが上がったが、私だけ蚊帳の外でした。  
時間の経つのが速く昼になり、いただいたアナゴの炊き込み御飯は、本当に美味しかった。TVで見たこととはありますが、初経験でした。  
風もきつく、波も大きく、潮流も速く、しんまいにはやむなしと、諦めて帰港。でも、初参加のHさんは「釣り」に嵌り込んだ(私はとづくに嵌っている)様子で、楽しげに見えました。



通信事始物語 最終章(その二)

顧問 中川 伊志巳さん



杉山健さん、宮田悦太郎さんに続いて中川伊志巳さんに、関わった通信事業へのそれぞれの立場から、『事始物語』を執筆いただきました。事業部経営の根幹である方針の策定とその都度のジャッジをどのように設定したか、がテーマになっています。結果のみしかしるされていませんが、経過や苦悩の背景は推測して余りあるものです。

そうこうしている内に、「87年10月のコードレス市場開放」が視野に入ってきた。

◆事業部の実力ではセルラーとコードレスの二兎を追うことなど、及びもつかない。コードレスは市場規模がセルラーより小さく、諦めきれない気持ちが強かったが、あえて「身の丈に合った経営を行い実利を取る道」を選んだ。そして選んだ以上は「市場規模が小さいだけに、コードレスの需要を丸取りする気迫」を持って、参入の準備に取り組むことにした。

◆事業部の技術者(有線電話機とカーステレオ)だけでコードレス電話機を本当に開発できるのか、不安だった。「出来る」という技術者の声を信じて、スタートさせたが、セルラーの技術を学んでいた栗橋課長(現第5技術部長)を先生に、連日、時間外での「無線技術勉強会」が続いていた。

◆商品開発を進めるに当って、ユーザー調査を行うにも、コードレスを使った経験のあるユーザーがいらない。仕方がないので、「来日して6ヵ月以内のアメリカ人」を東京に集め、米国での使用実態調査(米国では、一家に1台普及を行った。すると意外なことに、「コードレスはノイズが入って話しづらく、補助的にしか使われていない」とが判った。それで「ノイズをとり、使いや

しい商品を創る」ことに目標を定めた。

◆市場開放は決まったものの、当時二つあった方式(小電力と微弱)を、どのように許可するのか、郵政省の本音が判らない。そこで、佐々木顧問の紹介で、同省 課長補佐(後に技官の最高位である技術審議官に昇進された)に解説頂いて、ようやく腹を固めることができた(蓮さんには、後にPHSやWCDMAでもアドバイス頂き、今日まで親しくさせて頂いている)。小電力方式は、当時としては最高の技術仕様(セルラーに近い)で、高性能であるが、価格も割高になる。一方の微弱方式は安く作れるが、本命にはなり得ない。検討を続けた結果、「普及可能価格の実現」と「付加価値の創出」の二兎を追うために、あえて両方式を手掛けることとした。

普及価格の実現

◇「小電力」「微弱」共に同一のデザインとし、金型代は微弱方式のみで吸収した。

◇業界には、コードレスの普及に時間がかかる(年間30万台が定説)との声があったが、当社は、初年度から打って出ることになり、マスコミに「初年度百万台(業界)の見通し」を発表してムードを煽った(当社は初年度12万4千台を達成し、トップに立った)。

◇その結果、「小電力は10万円を上廻る」とされてきた常識を破って、八万九千円(CJ-S100)の値付けを行うことができた(微弱は三万九千円)。

◇当時のコードレスは「親機と子機でワンセット」となっていたのを、「子機だけで機能を完結し独立(今日の形態)」させ、しかも「親機と子機の間で通話ができるホームテレホン機能を付加した。その頃のホームテレホンは、15万円以上したから、これとの比較で割安感を出す工夫をしたのである。

◇当社は、コードレスと留守番電話機を同じ技術部門で開発していたので、スピーカーホン機能や秘話機能など有線で蓄えた技術をコードレスに移植することができた。これが後に複合商品であるコードレス留守番電話機(CJ-A300)のヒットを生むことになる(他社では、有線と無線の間に組織の壁があった)。

◇お買い上げ頂いたお客様に優越感を抱いて頂くために、「電話機は勿論、従来のコードレスとは一味違うユニークなデザインにしたい」と考えた。その頃、米国に格好のよいポータブル・セルラーが現れたのをヒントに、思い切って「タテ型の斬新なデザイン」を採用した。これが店頭で目立ち、各社が追随してきたことが、当社を「コードレスでリードする有利なポジション」に引き上げてくれた。その後間もなく、私は本社に戻ることになる。私にとつて事業部は約2年の経験に過ぎないが、今日振り返ると、これを契機に以降もPHSやPDC・GSM・CD

MAなど、通信を仲介役として人のつながりを広げ、豊かにすることができたことに感謝している。そして創業期に共に頑張ってくれた若手が、今や立派な中堅幹部として事業をリードしていかれることが、何よりも嬉しい。  
\* \* \* \* \*

『通信事始物語』は本稿で終了します。執筆いただいた皆さんに、心より御礼申し上げます。

余録 「通信」の現在

云わずと知れた「携帯」が主力。今春発売のSH08・SH51の両モデルで合計200万台の生産を目標む。

昨年、単月ではあるが月産60万台の実績もあり、bySHARPの認知度は格段に飛躍してきた。

「携帯ウオッチ」によれば、昨年のユーザーが選ぶ「携帯」ベストワンに、SH07が輝いている。



J PHONE  
By SHARP  
SH51&SH08

社友短信

新会員紹介

平成14年1月～3月に入会の方々

- 東 秀次さん No.2152
- 片野 泰臣さん No.2153
- 原田 裕美さん No.2154
- 長谷川 正義さん No.2155
- 杉野 雅毅さん No.2198
- 丸山 紀夫さん No.2218
- 中野 英勝さん No.2219

住所・電話・Eメールアドレスなどは別途「会員名簿」を参照ください。

私にとっては、キリスト教は更に無学ですが、聖書ではこの世の始まりは「始めに光ありき」と記述されているようです。「宇宙の始まりは約100億年前にビッグバンという大爆発で出来た」という現代技術論と一致します。

先ほどの子供のように「ビッグバンの大爆発の前はどうだったの?」と聞いてみますと、科学者は「無」であったと答えます。般若心経の「無」という世界と同じで「無」の世界は次第に「ゆらぎ」を生じて(正と反)遂にビッグバンに到るとというのが定説です。現在我々の住む宇宙は、その一方の世界(正)であり反対の性質を持つ「反世界」(反)があると「量子力学」は教えています。この世の物質をどんどん細かく割ってゆきますと、湯川博士の素粒子という所に達します。これが最終の姿かと思いきや、更に大きな力(エネルギー)をかけると粒子と反粒子とに分裂します。しかし瞬時にして、粒子と反粒子は再結合して元に戻ってしまうことが確認されています。この反粒子は、あの世を支配し充満している粒子であるかどうかは判りませんが全く逆の性質を持つことが判っています。

さて、「大自然の法則」の方に移りましょう。万物を支配し進行させている宇宙の根源は何か、へそ曲がり技術者の私は、「時間と空間と重力」ではないかという結論に達しています。(これは難しいと言わずに読み進んでね)

先ず「時間」。これがこの世では休みなく前に進むので「色は匂えど散りぬるを」となってしまうのです。時計の針を逆に戻して若返りたいと誰でも考える欲望ですが、この世では理論的には光の速さ、一秒間に30万キロメートル以上(1秒間に地球を7.5回以上廻る速さ)の乗り物に乗れば若返ることができます。しかし現実はその乗り物を作るのは無理でしょう。太陽と地球の距離は約1億5千万キロメートルですから太陽の光が地球に届くの約8分かかります。

『正反合』(その2の2)

社友会 会長 幸 實

従って地球上で見る太陽は8分間だけ前の若い姿の太陽です。今地球に届くの50年かかる(宇宙規模では非常に近い)星から望遠鏡で地球を見ると50年前の貴方の姿が地球上に見えます。でも、貴方は一瞬の時間でその星に行かねばなりません。

余談ですが、原子力発電機のパイプに亀裂が入って冷却水が漏れるという幼稚な事故が何回も起こっています。パイプを丈夫にすれば良いというすごく簡単なことが、原子力機器の技術者の英知を集めても出来ず繰り返されるのは、原子の世界では「時間が早く進む」ので、パイプが早く疲労するのではないかと考えています。つまりこの世の10年は原子世界の100年だと。(本当ですかね?)

日本の童話に出てくる浦島太郎の物語は「亀に乗って竜宮城に行き3日間を乙姫様と過ごして戻ったら、300年が過ぎていて、もと居た家も村もなくなり、玉手箱を開けた途端に時間が急に進んでお爺さんになった」という誠にすばらしいタイムトンネルの発想の話があるではありませんか。亀という時間をコントロールできる乗り物に乗ったからですね。

さて、今回は話しが途中になりましたが、次回も引き続き「あの世」の探索の旅に出かけたいと思います。

山口寿栄信さん

住所が千葉に。そのため、広島支部から東京支部へ移籍。

檜原繁彦さん

ご存知の、前九州分会長。東広島市に転入。支部としては変わりないものの、名簿上は九州分会から広島支部に移動。

各種配布物の社友会室引き取りについて

東広島市内及び近隣にお住まいの会員諸兄には、来室いただいて引き取りをお願いいたします。引取りが数ヶ月途絶えますと、健康状態への懸念など、余計な心配も始まります。月に一度は、お立ち寄りをお願いします。

編集後記

◇今年には桜の開花が、いずこも例年より早くしかも、満開に時期にお天気もよく、外に出たい気持ちを抑えて、本紙の編集を行っています。

◇先日、久しぶりに事業本部のショールームを覗きました。

最近、立ち寄ることの無かった場所でしたから、なにやら目新しく商品自体も新鮮に見えました。世界から、少しづつ遅れ始めているような気がしました。

◇支部会報第22号は、こんな雰囲気の中で編集しました。